

女性応援つながりサポート事業【石川県白山市】

地域の実情と課題

コロナ下において女性の日常生活の不安に関する相談が増えている。地域的にも、固定的性別役割分担意識が根強く残っている中で、自分自身の悩みを過小評価したり、「知り合いには相談できない」と孤立する女性も多い。

目的・目標

困難を抱え孤立する女性のつながりを支援するため、広く相談窓口を啓発し、相談者の不安を解消するために必要な支援を実施していく。

男女共同参画啓発展を市内各図書館等で4回実施した。また、市ホームページ内に設置した事業の啓発ページのPV数が150件/月（目標50件/月）となり、相談窓口を広く周知することが出来た。

事業の特徴

市社会福祉協議会の生活困窮者や孤立している子どもに対する相談支援等のノウハウを活かし、総合的な相談支援を実施した。

教育機関とも連携しながら声を上げにくい若年層についても掘り起こしを行い、相談につながるよう啓発を実施した。

男女共同参画・DVなどの意識を醸成するため、市内図書館等で「男女共同参画啓発展」として巡回展示を実施した。

連携団体

白山市社会福祉協議会

事業の効果

例年、市ホームページにおける女性相談・DVに関する啓発ページの月平均PV数は34件程度であるが、「女性応援つながりサポート事業」専用の啓発ページについては、月平均150件となり、当初の目標を上回り、相談窓口を広く周知することができた。

今後の課題

プレビュー数にムラがあり、定期的かつ継続的な啓発が今後も必要である。

事業の概要

啓発事業(生理用品の提供)

生理用品の提供を通じて、困難を抱え孤立する女性に対し広く相談窓口を啓発した。



同封の啓発チラシ

相談窓口の啓発(市ホームページ・LINE)



市ホームページに事業専用ページを開設した。LINEによる啓発を実施した。年間を通じて2000PVを超える閲覧があった。(例年、女性相談関係のページの閲覧数は400PV程度)

相談窓口の啓発(男女共同参画啓発展)

男女共同参画啓発展を市内各図書館、福祉センターで4回実施し、相談窓口の啓発とともに男女共同参画・DVなどの意識を醸成した。



相談事業

関係機関と連携しながら、必要に応じた相談支援を実施した。

- 女性なんでも相談件数 278件
- くらしサポート はくさん女性相談件数 387件

